



弥生っ子

令和8年7月1日
千葉市立弥生小学校
7月号

支え合い きらりと輝く子供たち

校長 高山 邦美

「ラララ にじが にじが空にかかって きみのきみの気分もはれて きっと明日はいい天気」
今月の歌が校内に流れ、一日が始まります。梅雨の季節にぴったりの明るい歌声に、子供たちも梅雨明けを待ちわびている様子です。この曲を毎日同じ時間に放送しているのは、放送委員会の子供たちです。弥生小学校では、委員会活動を4年生から6年生で行っています。4月当初は、放送機器の操作に戸惑ったり、放送の言葉に緊張したりする様子が見られましたが、3か月が経ち、自信をもって取り組めるようになりました。また、活動についてよく知る6年生が下級生に丁寧に教える姿も見られ、最高学年としての自覚と責任感が育っていることを大変頼もしく感じています。

各学年の成長も随所に見られました。6月17日に千葉市小学校表現運動発表会に出場した3年生は、他校の発表からよさを学び、自分たちの演技に生かそうとする姿があり、大変立派でした。また、2年生は1年生を案内しながら学校探検を行い、優しく学校の様子を伝えていました。1年生も、机を運んだり床を拭いたりするなど、自分たちで清掃に取り組めるようになってきています。

さらに、日々の学校生活の中でも心温まる場面に出会います。体育の鉄棒運動では、逆上がりができた友達に対して「できたね、すごい」と拍手を送る姿が見られました。できた本人の喜びはもちろん、周囲の子供たちの笑顔もとても印象的でした。またある時は、順番を譲る場面に出会いました。一人の行動が周りに広がり、「ぼくは3番でいいよ」と自然に譲り合う姿につながりました。その姿を先生に認められ、子供たちはさらにうれしそうにしていました。高学年では、自分の夢や目標に向かって努力する姿も多く見られます。努力することの素晴らしさ、そして互いに応援し合い、認め合う温かな雰囲気が醸成されています。4月からの3か月を経て多くの成長が見られました。子供たちの自己肯定感を高めることを目指して教育活動を進めてきましたが、今後も引き続き子供たちのキラリ輝く姿をほめていけるように、認め合う温かい雰囲気を大切に育んでいきたいと思います。

結びに、先日第2回常任理事会が開催されました。役員の皆様にはご多用の中ご参加いただき、充実した話し合いを行うことができました。子供たちのために共に考え、支えてくださる皆様に深く感謝申し上げます。7月には個人面談を予定しております。4月からの成長や頑張りをお伝えするとともに、ご家庭での様子をぜひお聞かせください。不安なことや心配なことがありましたら、どうぞ遠慮なくご相談ください。面談が終わると、いよいよ夏休みです。夏休みにしかできない体験を大切にしながら、安全に気を付け、心に残る充実した日々となることを願っています。